

フォークリフトにリチウムイオンバッテリーと再生バッテリーを使用開始 — 従来の鉛バッテリーからの切替えにより温室効果ガス排出量を削減 —

リチウムイオンバッテリー (豊田自動織機社製「ENELORE」)

TOYOTA **L&F**



従来の鉛バッテリーとの比較で寿命が長く、交換頻度の低減によるバッテリー製造時の温室効果ガス排出量を削減

再生バッテリー (イグアズ社 復元テクノロジー「MOTTA」)



復元技術により寿命を迎えた鉛バッテリーが再度使用可能となる。
従来の鉛バッテリー製造時と比較して、温室効果ガス排出量を削減

サントリーロジスティクス(株)は、自社拠点における温室効果ガス削減の取り組みの一環として、倉庫作業において従来から使用しているフォークリフトの鉛バッテリーにつきまして、「リチウムイオンバッテリー」並びに「再生バッテリー」に5月から順次切替えます。

本バッテリー施策による切替えを順次展開することにより、22年～30年までの期間において、従来の鉛バッテリーの使用時と比べ、製造時における約3割の温室効果ガス排出量を削減できる見込みです。

また、21年11月に稼働したサントリー浦和美園配送センター※(さいたま市)においては、本バッテリー施策の計画をもとにさいたま市より「さいたま市SDGs企業認証制度」の認証を受けています。

※2021.11.24 ニュースリリース:首都圏の物流新拠点「浦和美園配送センター」稼働

<https://www.suntorylogistics.co.jp/pdf/newsrelease202111.pdf>

人手不足、働き方改革、環境意識の高まりなど、物流をとりまく環境は大きく変化しており、持続可能な物流への取り組みは、重要な課題となっています。

サントリーロジスティクス(株)はこれからも、安全・安心な物流の実現に加え、先端技術を活用し、環境負荷の低減・物流業務の自動化・省力化による労働負荷軽減、作業効率化などを実現する「スマートロジスティクス」のさらなる取り組みを進めていきます。

以上

〔本件に関する問い合わせ先〕

サントリーロジスティクス株式会社 経営企画部 広報担当

Tel: 03-6809-5790 Fax: 03-6453-8453

青羽 Mail: keisuke_aoba@suntorylogistics.co.jp 中村 Mail: godai_nakamura@suntorylogistics.co.jp